

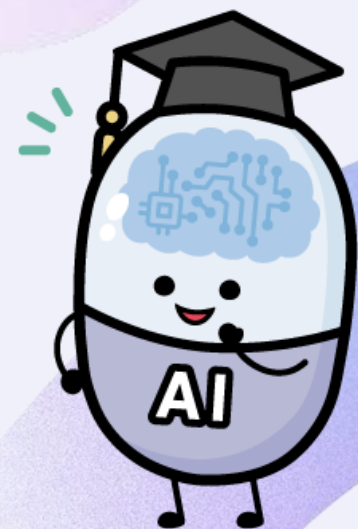
# AI連携ライセンス(AL)のご紹介

生成AIベンダーとの契約や管理製品を準備することなく、  
すぐに生成AI機能を使える便利なライセンス

# 目次

1. AI連携ライセンス(AL)のご紹介
  2. お客様の「困った」を解決するALの力
  3. ALで使える生成AI連携機能のご紹介
  4. AI連携ライセンスご利用の流れ
- 付記1 AI連携ライセンス利用上の条件・制約事項
- 付記2 よくある質問

# 1. AI連携ライセンス(AL)のご紹介



## AI連携ライセンスとは

# 生成AI連携を、もっと身近に WinActor「AI連携ライセンス(AL)」登場！

WinActorはVer.7.5より、生成AIとの連携機能を標準搭載したことで、  
シナリオ開発や運用が格段に効率化しました。

さらに、従来のRPAでは自動化が難しかった「判断を伴う非定型業務」にも対応できるようになりました。

そして今回、その生成AI連携機能を より手軽に、より柔軟に 活用いただけるよう、  
新ライセンス「AI連携ライセンス(AL)」をご提供します。

ALを導入することで、生成AIの力を最大限に引き出し、業務効率化・自動化の幅をさらに広げることが可能です。

**WinActor × 生成AI = AL**

この組み合わせが、業務改革の新たなスタンダードになります。

ぜひこの機会に、ALの導入をご検討ください。

## 1-1. AI連携ライセンス(AL)の特長

### 1. 追加費用なしで、すぐに生成AI連携が可能です

- ALに、生成AI(Azure OpenAI)を利用する契約が組み込まれているため、個別の契約は不要で、すぐに生成AI連携機能をご利用いただけます。

### 2. フローティングライセンス方式で、ライセンスを効率的に使えます

- フローティングライセンス方式のため、端末を固定せず複数の端末で自由に利用できます。いろいろな部署でお試しいただけます。
- ALに、NTT-ATが管理するAI連携ライセンス管理サーバーの利用が含まれているため、お客さま側でライセンス管理製品を準備する必要はありません。



## 1-2. WinActorのライセンス種類

ライセンスの  
詳細はこちら

生成AI連携機能の利用には、生成AIベンターとの別途契約が必要

### ノードロックライセンス(NL)

PCごとに  
インストールして利用

PC1台からスモールスタート

(例)NLを2ライセンス利用中の場合

特定の端末のみでご利用可能



### フローティング ライセンス(FL)

管理製品と組み合わせて  
どのPCでも利用できる

管理製品が必須

(例)FLを2ライセンス利用中の場合



\*利用予定の全ての端末にWinActor(FL)のインストールが必要

生成AIベンターとの別途契約が不要

### AI連携ライセンス(AL)

管理製品なしで  
どのPCでも利用できる

PC1台からスモールスタート

(例)ALを2ライセンス利用中の場合



\*利用予定の全ての端末にWinActor(AL)のインストールが必要

生成AI  
ライセンス  
付き!

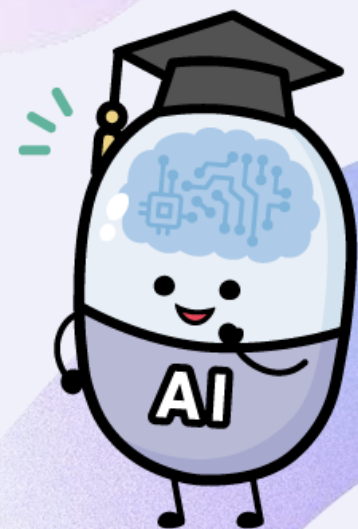
# 各ライセンスの比較

生成AI  
ライセンス  
付き！

付き!

|                    |             | ノードロックライセンス(NL)                                       |                | フローティングライセンス(FL)          |        | AI連携ライセンス(AL)                                                          |                |
|--------------------|-------------|-------------------------------------------------------|----------------|---------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 利用できる<br>生成AI連携機能  |             | ①シナリオ内生成AI応答利用<br>②対話型シナリオひな形作成<br>③帳票操作簡単化<br>④AIヘルプ |                |                           |        | ①シナリオ内生成AI応答利用<br>②対話型シナリオひな形作成<br>③帳票操作簡単化<br>④AIヘルプ<br>⑤ライブラリPython化 |                |
| 生成AIサービス契約         |             | 必要                                                    |                | 必要                        |        | 不要                                                                     |                |
| 端末制限               |             | 特定の端末のみで利用可<br>(ノードロック方式)                             |                | 端末を限定せず利用可<br>(フローティング方式) |        | 端末を限定せず利用可<br>(フローティング方式)                                              |                |
| 管理機能               | ライセンス管理サーバー | 購入不要                                                  |                | 購入必要                      |        | 購入不要                                                                   |                |
|                    | WinActor管理  | 利用可                                                   |                | 利用可                       |        | 利用可                                                                    |                |
| ライセンス種別            |             | フル機能版、実行版                                             |                | フル機能版、実行版、管理実行版           |        | フル機能版、実行版                                                              |                |
| 価格<br>(メーカー希望小売価格) |             | フル機能版                                                 | 1,098,680円(税込) | フル機能版                     | オープン価格 | フル機能版                                                                  | 2,197,800円(税込) |
|                    |             |                                                       |                | 実行版                       |        |                                                                        |                |
|                    |             | 実行版                                                   | 300,080円(税込)   | 管理実行版                     |        | 実行版                                                                    | 600,600円(税込)   |

## 2. お客様の「困った」を解決するAIの力



## 2-1.生成AIの契約不要で、生成AI連携機能を利用可能！

### 導入前

生成AIベンダーとの契約が必要だ

機密情報を扱う業務でも、安心して  
生成AIを使える方法はないだろうか？



### 導入後

- **AI購入だけですぐに生成AI連携機能を使用できた！**
- データを生成AIの学習に利用しないため、**情報漏洩のリスクなく安心して利用できる**

生成AI、契約いらずで即活用



## 2-2.フローティングライセンス方式！ライセンスをチームで有効利用

### 導入前

ライセンスを無駄にしたくない。  
使いたいときに使える  
柔軟なライセンスはないのか…

複数のRPAを導入したいけど、  
管理製品の準備が面倒、費用もかかるし…



### 導入後

- 管理製品いらずのフローティングライセンス方式で、すぐにRPAを導入できた！
- ライセンスをみんなで共有できるから、**必要なときに必要な人が使える！**
- 少ないライセンス数から始められるので、まずは気軽に試せて安心！

RPA導入のハードルが、  
ぐっと下がった！



## 2-3.生成AI活用で非定型業務も自動化へ。RPAの可能性を広げる新常識

### 導入前

シナリオ作成は初めてで不安

※ シナリオ:業務手順を記録したもの

FAX注文書・手書き申請書など、紙資料の  
数値を社内システムに自動投入したい



### 導入後

- 生成AIとの対話で、シナリオのひな形が  
すぐにできる！（シナリオひな形作成）
- 帳票フォーマットの自動認識でシナリオ  
作成が簡単に！（帳票操作の簡単化）
- 画像から直接データ抽出できる！  
（シナリオ内生成応答利用＜画像認識＞）



手軽にシナリオ作成が  
できるようになった！





## 2-4.AIヘルプで、チャット形式で質問、すぐに回答

### 導入前

WinActorの操作やエラー対処などを  
すぐに確認したい

シナリオ作成中のライブラリの設定方法を  
すぐに聞きたい

※ シナリオ:業務手順を記録したもの



### 導入後

- ・ 待ち時間なしで操作やエラーを解決！
- ・ 調べる考える時間を短縮！
- ・ ベテランの知識やノウハウを共有できる！
- ・ マニュアルを読むより効率的



質問すればすぐに  
必要な回答が得られます



※AIヘルプ機能: 特に生成AI接続用のAPIキーの設定は不要で、インターネット網に接続できる環境であれば利用可能



## 2-5.ライブラリPython化の支援

### 導入前

Pythonへの移行作業に手間がかかる

移行のために新たなライブラリ開発や  
Pythonの学習が必要になる



### 導入後

- **AIが移行作業を支援**するため  
効率よく進められる！
- 既存のVBScriptライブラリも有効活用！
- 将来のVBScript非推奨化にも  
対応しやすく！

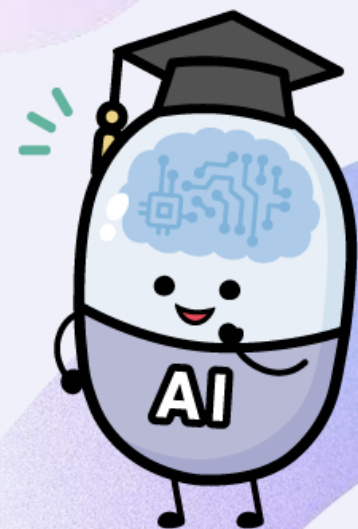


VBScript資産を活かしながら  
スピーディにPythonへ移行



※ VBScriptは、Microsoftによって段階的に非推奨化され、2027年頃にデフォルトで無効になる予定です。

### 3. ALで使える生成AI連携機能のご紹介



## 生成AI連携機能のラインナップ

### ① 対話によるシナリオひな形作成

- ・ 生成AIが作成したシナリオのひな形を、対話により修正・追加しブラッシュアップ
- ・ はじめてのシナリオ作成でも簡単に作り上げることが可能

### ② 帳票操作の簡単化

- ・ 生成AI連携で帳票を読み込ませることで、バラバラのフォーマットの帳票でも、フォーマットを意識することなく、簡単にシナリオ作成
- ・ 帳票内容を自動で認識・整理できるため、スピーディなシナリオ作成が可能

### ③ シナリオ内生成AI応答利用（テキスト生成、画像認識）

- ・ 問合せ回答案作成や要約、AI翻訳などテキスト生成を対象とした自動化が可能
- ・ 画像認識(画像内データの抽出など)も可能
- ・ これにより非定型業務を含めた自動化を実現

## 生成AI連携機能のラインナップ

### ④ AIヘルプ ※AIヘルプのご利用は、ALの「生成AI利用量」にはカウントされません.



Ver.7.7新機能 ★★

- チャット形式ですぐに質問、生成AIが即座に回答
- WinActorの操作やエラー対応時にすぐに確認することが可能

### ⑤ ライブラリPython化の支援 ※ ALのみの機能



Ver.7.7新機能 ★★

- ユーザーが独自に作成したVBScriptライブラリを、生成AIによりPythonライブラリへ置き換えることが可能

## 3-1.対話型シナリオひな形作成／ AIと対話しながらシナリオを作成

- チャット形式でシナリオのひな形が作成できる
- ゼロから作る時間を大幅に短縮

●●町の郵便番号を検索して  
Excelにコピペして

例:



### ■ 期待できる効果 シナリオ作成のハードル低下

対話型で指示をするだけでシナリオのひな形ができる

### ■ 期待できる効果 業務の標準化と属人化解消

誰でも同じ品質でシナリオ作成ができるようになり、  
特定の担当者への依存を減らせる

### ■ 期待できる効果 適切なライブラリ設定の促進

生成AIがシナリオ内容に合わせたライブラリの選択や  
設定ヒントを提示してくれるため、最適な設定が容易

### ■ 期待できる効果 シナリオ作成時間の劇的な短縮

対話型での効率的なシナリオ作成支援により、  
開発期間が大幅に短縮される

## 3-2. 帳票操作の簡単化

- 生成AIが帳票の内容を理解し、変数名とその値、位置情報などを抽出
- バラバラなフォーマットの帳票内の、値や表のフォーマットを意識することなく、簡単にシナリオ作成可能
- 帳票操作の専用ライブラリによって、多数の帳票処理をこれまでより高速処理可能



### ■ 期待できる効果

#### 作業時間の大幅な短縮

バラバラなフォーマットでも、意識することなくデータ化してくれる

### ■ 期待できる効果

#### 細かく意識しなくても

生成AIが帳票の内容を理解し、抽出してくれて、表部分の行数なども意識することなくシナリオ作成が可能になった

### ■ 期待できる効果

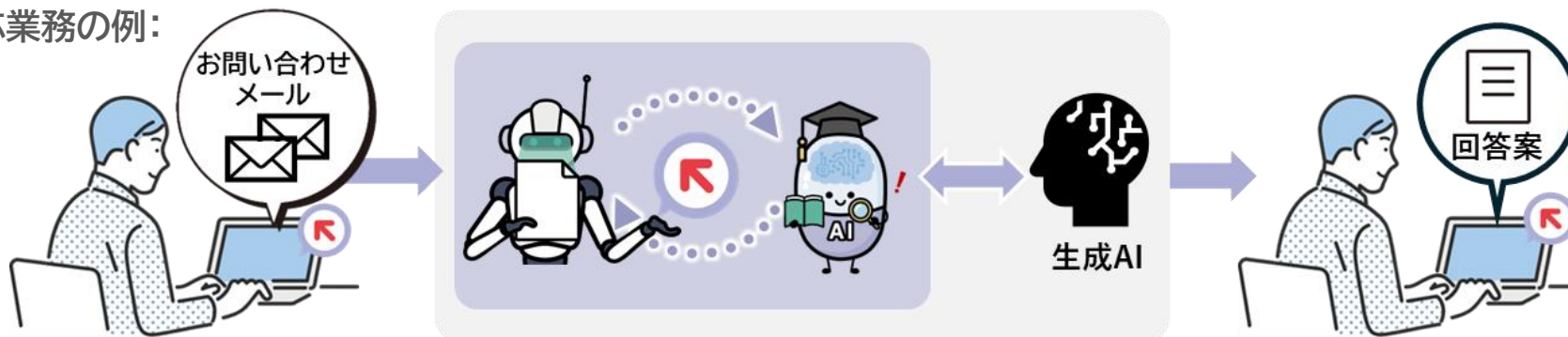
#### 入力ミスの削減、稼働削減

ヒューマンエラーがなくなり、大幅な稼働削減が実現

### 3-3. シナリオ内生成AI応答利用の例：テキスト生成

シナリオの中で生成AIと直接やりとりを行うことで、問い合わせ対応(メールへの回答作成など)や文書の要約・翻訳が可能

問い合わせ対応業務の例:



期待できる効果

**稼働削減**

1件毎にAI応答利用するのは、かなり手間と時間がかかるが、生成AI連携により回答案を確認し、回答送信はWinActorで自動化することで大幅な稼働削減が実現

## 3-4. AIヘルプ

チャットで質問するだけ！ 操作方法やエラーの対処方法をAIがその場で回答



※AIヘルプのご利用は、ALの「生成AI利用量」にはカウントされません。

### 期待できる効果 自己解決支援

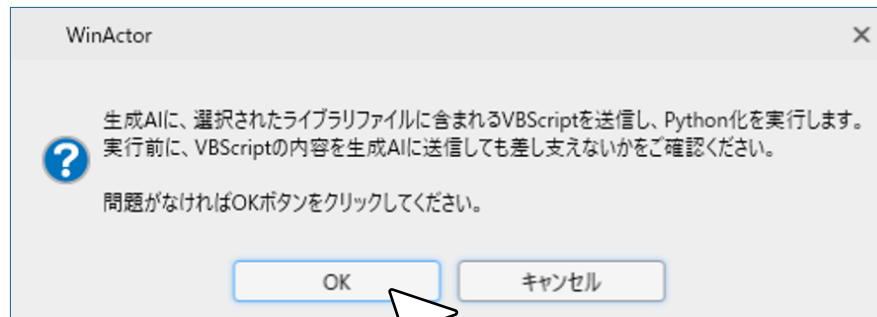
- 操作中の疑問をその場で解決
- エラー対応時間の短縮
- 利用者自身で解決できる機会が増え、業務が止まりにくくなる

## 3-5. ライブラリPython化の支援の例

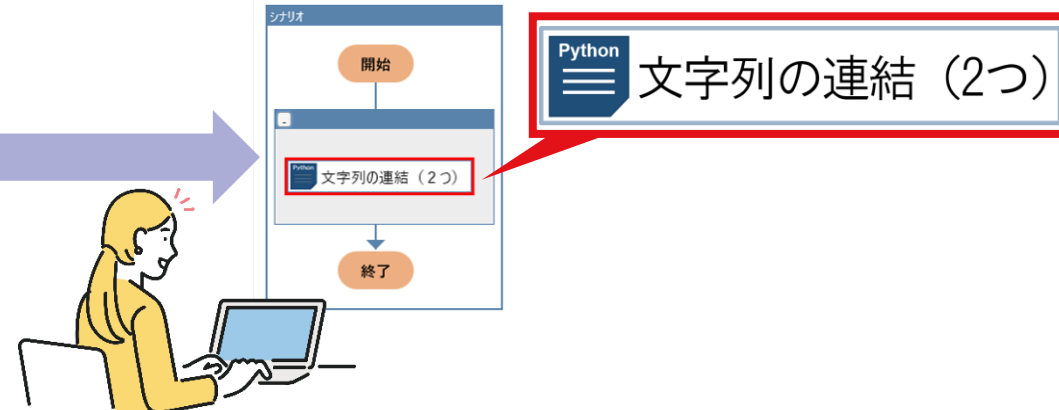
### AIが既存ライブラリのPython化を支援

MicrosoftがVBScriptの段階的な廃止を進めているため、将来も安心して利用できるようPythonへの移行を支援します。VBScriptで作成したライブラリを活かしながら、新しい環境への移行を効率よく進められます。

既存のVBScript資産を選択するだけで、  
生成AIがPython化を支援



Python化したライブラリが表示  
内容と動作を確認してから保存



※ 本機能は生成AIによる変換を支援するものであり、生成されたPythonライブラリの動作を保証するものではありません。  
ご利用にあたっては、出力されたコードを確認したうえでご利用ください。

## 4. AI連携ライセンスご利用の流れ

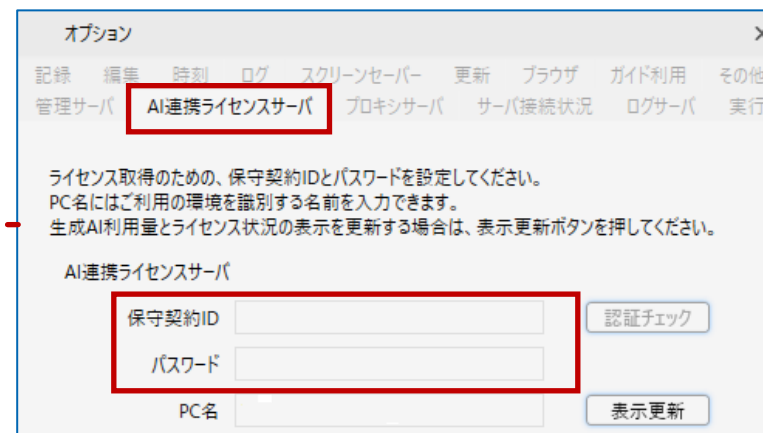
## AI連携ライセンスご利用の流れ(Ver.7.7.0以降)

AL専用のサーバー接続情報を設定いただくだけで、利用開始できます。

- ① WinActorを起動し、  
[オプション]-[AI連携ライセンスサーバ]に  
保守契約IDとパスワードを設定

保守契約IDとパスワードは、ALの「ライセンス証書」に記載されます。

- ② 契約開始日以降、AL利用スタート



オプション

記録 編集 時刻 ログ スクリーンセーバー 更新 ブラウザ ガイド利用 その他  
管理サーバ AI連携ライセンスサーバ プロキシサーバ サーバ接続状況 ログサーバ 実行

ライセンス取得のための、保守契約IDとパスワードを設定してください。  
PC名にはご利用の環境を識別する名前を入力できます。  
生成AI利用量とライセンス状況の表示を更新する場合は、表示更新ボタンを押してください。

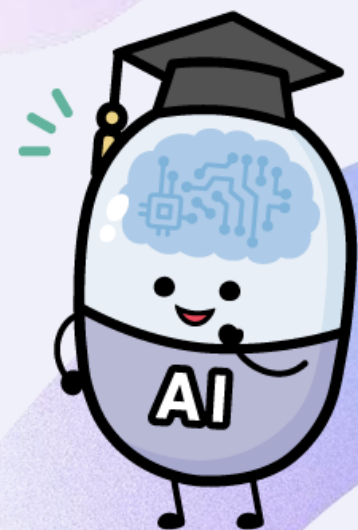
AI連携ライセンスサーバ

保守契約ID  認証チェック

パスワード

PC名  表示更新

# 付記1 AI連携ライセンス利用上の条件・制約事項



## ALご利用条件、制約事項

WinActorソフトウェア使用許諾書およびWinActor公式サイトに今後記載される、サービス内容、提供条件等をご確認ください。

### ■利用条件等

- AL利用端末から、NTT-ATの管理サーバーへのインターネット接続(HTTPS通信)が必要です。
- お客様のIPアドレスに制限をかけるご要望はお受けできません。また、お客様環境からNTT-AT管理サーバーへの接続可否については、評価ライセンスで事前にご確認ください。
- Win Actorソフトウェア使用許諾契約書に、NTT-ATがマイクロソフトとの契約に基づき提供する生成AIサービスの利用に関する条項が追加されます。ご利用に際しては、本使用許諾契約書への同意が必要となります。
- WinActor公式サイトに、ALの「サービス提供条件」を掲載いたします。
- ご利用にあたり必要となるお客様社内での手続きは、各ご利用企業様にてご対応をお願いいたします。

# 生成AI利用量について

## ■生成AI利用量のカウント方法

- 生成AI連携機能の「利用回数」を利用量としてカウントします。
- 「利用回数」とは、WinActorから生成AIに問い合わせる回数です。トークン数ではありません。
- 利用量のカウントは2026年10月1日に開始します。2026年9月末までの利用量はゼロと計算されます。

## ■生成AI利用量の確認方法

「オプション」画面から  
簡単に確認できます。

[ツール] > [オプション] >  
[AI連携ライセンスサーバ]タブ

契約したALの  
生成AI利用状況が表示

オプション

記録 保守契約ID 保守契約ID 更新 ブラウザ ガイド利用 その他  
管理サーバ AI連携ライセンスサーバ プロキシサーバ サーバ接続状況 ログサーバ 実行

ライセンス取得のための、保守契約IDとパスワードを設定してください。  
PC名にはご利用の環境を識別する名前を入力できます。  
生成AI利用量とライセンス状況の表示を更新する場合は、表示更新ボタンを押してください。

AI連携ライセンスサーバ

保守契約ID  認証チェック

パスワード

PC名 PROMODESKTOP 表示更新

最終更新日時: 2026/08/20 07:18:21+09:00

生成AI利用量 消費率: 0%  
(累計: 32 / 上限: 1000)

最終更新日時: 2026/08/20 07:18:21+09:00

保守契約ID ---

ライセンス種別 ☒ フル機能版 ☐ 実行版

ライセンス数 利用数: 1 / 上限数: 1

ライセンス終了日時 2026/08/31 23:59:59+09:00

| 更新日時                      | PC名          |
|---------------------------|--------------|
| 2026-08-20T07:24:02+09:00 | PROMODESKTOP |

OK キャンセル

## ■2026年10月に設定される「生成AI利用量」の上限

| 製品名            |       | 年間上限    |
|----------------|-------|---------|
| AI連携ライセンス (AL) | フル機能版 | 20,000回 |
|                | 実行版   | 5,000回  |

上記の表は1ライセンスあたりの上限となります。

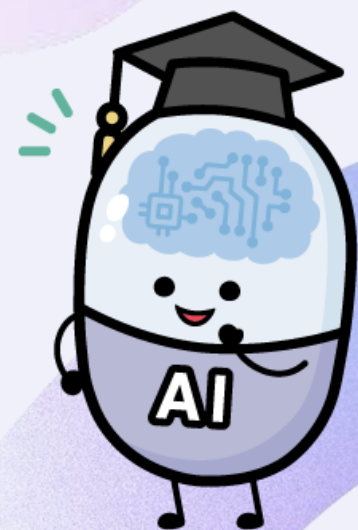
# 各機能の生成AI利用量消費タイミング

生成AI利用量は生成AI連携機能により生成AIが利用されるタイミング※にて、1回消費されます。

| 生成AI連携機能                      | 消費タイミング                                            |
|-------------------------------|----------------------------------------------------|
| 対話によるシナリオひな形作成                | チャット送信時<br>※シナリオの初回作成、修正にかかわらず、1チャット送信につき1回消費されます。 |
| 帳票操作簡単化                       | 帳票(1ファイル)の雛形・データ抽出時                                |
| チャット応答取得(AI連携ライセンス)<br>サブシナリオ | サブシナリオ実行時(当該サブシナリオが生成AIを呼び出すごとに1回)                 |
| ライブラリPython化                  | Python化実行時                                         |
| AIヘルプ                         | 消費なし                                               |

※ネットワーク切断等によりWinActorが応答結果を受け取ることができなかった場合や  
WinActorが応答結果を正しく処理できなかった場合であっても、NTT-ATが契約するAzure OpenAIのサーバ側の処理が  
成功しているときは生成AI利用量が消費されますので、適宜生成AI利用量をご確認ください。

## 付記2 よくある質問



## 付記:よくある質問

| ライセンスの運用について                                                     |                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 質問                                                               | 回答                                                                                                    |
| ALは、ユーザーが契約している管理機能製品でも管理できますか。                                  | Ver.7.7より管理可能となりました。                                                                                  |
| サーバーメンテナンス等、ALが利用できないタイミングはありますか。また、そのようなメンテナンス情報はどこで確認すればいいですか。 | はい、メンテナンス等により、ALのご利用に影響が生じるケースが発生する場合があります。<br>そのようなメンテナンスを実施する場合は、日程が決まりましたら事前にWinActor公式サイトでご案内します。 |



WinActor®はNTTアドバンステクノロジーの登録商標です

WinActor<sup>®</sup>が、  
仕事を変える。  
あなたを変える。  
組織を変える。

